



日本実験動物医学会 2019-2020 年度総会

2019年9月12日(木) 11:00~12:00

つくば国際会議場

(第162回日本獣医学会学術集会)

総会次第

開 会

会長あいさつ

授与式

2019-2020年度(第16回)前島賞授与式

2018-2019年度 実験動物医学専門医認定式

議長選出

議 事

[1] 2018-2019年度事業報告

[4] 2019-2020年度予算案

[2] 2018-2019年度決算報告

[5] その他

[3] 2019-2020年度事業計画

報告事項

閉 会

◎2019-2020年度(第16回)前島賞授与式

◎2018-2019年度 実験動物医学専門医認定式

新実験動物医学専門医(敬称略)

番号157	内橋 真悠	番号164	大杉 剛生	番号171	高木 善市
番号158	安藤 博之	番号165	小澤 美幸	番号172	寺田 節
番号159	飯田 玄德	番号166	落合雄一郎	番号173	西江 英明
番号160	磯部 剛仁	番号167	加納 聖	番号174	林元 詩織
番号161	伊藤 拓哉	番号168	菊月 隆太	番号175	藤澤 千恵
番号162	井上 知紀	番号169	木村 純平	番号176	宮本 陽子
番号163	内山 裕貴	番号170	高井 了	番号177	渡邊 厚

2017-2018~2019-2020年度役員会(理事・監事)

会長	安居院高志 (北海道大学)	理事	下田 耕治 (慶應義塾大学)
	(涉外担当理事兼任)	理事	鈴木 穂高 (茨城大学)
副会長	池 郁生 (理化学研究所)	理事	古市 達哉 (岩手大学)
理事	角田 茂 (東京大学)	理事	森松 正美 (北海道大学)
	(会計・事務局担当)		(庶務担当)
理事	久和 茂 (東京大学)	監事	黒澤 努 (鹿児島大学)
理事	佐々木宣哉 (北里大学)	監事	橋本 道子 (アステラス製薬)

【 議 事 】

[1] 2018-2019 年度事業報告 (8/1~7/31)

1. 2018-2019 年度総会の開催

時期：2018 年 9 月 13 日

場所：つくば国際会議場 第 161 回日本獣医学会学術集会

議事：会則の改定/2017-2018 年度事業報告/2017-2018 年度決算報告/2018-2019 年度事業計画案/2018-2019 年度予算案/JALAM 功労賞の制定/ 来年の学会とエクスカージョンについて/ 報告事項

2. 理事会の開催

(1) 第 1 回理事会

時期：2018 年 9 月 11 日

場所：つくば国際会議場 第 161 回日本獣医学会学術集会

出席者：安居院、池、角田、久和、佐々木、下田、鈴木、古市（以上理事）、黒澤、橋本（以上監事）

欠席者：森松（理事）

(2) 第 2 回理事会

時期：2019 年 5 月 14 日

場所：福岡国際会議場 第 66 回日本実験動物学会総会

出席者：安居院、池、角田、久和、佐々木、下田、鈴木、古市（以上理事）、黒澤、（監事）

欠席者：森松（理事）、橋本（監事）

3. 学術集会委員会

委員長：佐々木宣哉（北里大）

委員：岡村匡史（副委員長、国際医療センター）、北村 浩（酪農大）、花木賢一（感染研）、佐々木隼人（北里大）、越後谷裕介（日大）、小久保年章（放医研）、綾部信哉（理研）

(1) 第 161 回日本獣医学会学術集会開催期間中、2018 年 9 月 12 日に学術集会委員会を開催した。
議題：今後の実験動物医学シンポジウムについて

(2) 第 161 回日本獣医学会学術集会開催期間中、2018 年 9 月 13 日に委員長が日本獣医学会プログラム委員会に出席した。

(3) 前回委員会から今回委員会までの間に ML で第 66 回日本実験動物学会総会ならびに第 162 回日本獣医学会学術集会における JALAM シンポジウム内容等について検討し、準備を進めた。

(4) 下記の通り、教育講演・シンポジウムを企画・開催した。

第 161 回日本獣医学会学術集会

JALAM シンポジウム「糖尿病：基礎研究から臨床応用へ向けて」

時期：2018 年 9 月 13 日

場所：つくば国際会議場

第 66 回日本実験動物学会総会

JALAM シンポジウム「脊椎動物モデルとしての魚類の基礎と応用」

時期：2019 年 5 月 14 日

場所：福岡国際会議場

4. 情報・編集委員会

委員長：鈴木穂高（茨城大）

委員：伊藤麻里子（副委員長、名大）、綾部信哉（理研）、大沼健太（日本たばこ産業）、和穎 岳（ヤクルト中央研）、明貝俊彦（ふくしま医療機器開発支援センター）、近藤友宏（大阪府大）

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No. 51（2018.8）および No. 52（2019.4）を編集し、本学会ホームページ（HP）に掲載した。

(2) 本学会一般公開 HP を jalam.jp ドメインで管理運営し、随時、内容を更新した。

(3) JALAM-ML(jalam@umin.ac.jp)および会員 HP (<http://jalam.jp/htdocs/>)を管理運営した。

(4) 第 161 回日本獣医学会学術集会開催期間中、2018 年 9 月 11 日に JALAM 情報・編集委員会を開催した。

5. 研修委員会

委員長：久和 茂（東大）

委員：中村紳一朗（副委員長、滋賀医科大）、岡村匡史（国際医療研究センター）、倉岡睦季（日獣大）、小久保年章（放医研）、今野兼次郎（ふくしま医療機器開発支援センター）、高木久宜（日本エスエルシー）、林元展人（実中研）、藤澤彩乃（東大）

第 161 回日本獣医学会に合わせ、2018 年 9 月 9、10 日にウェットハンド研修会「III. サル類の獣医学的管理」をハムリー株式会社つくば研究所（古河市）で共催した。受講者は 16 名。また、第

1 回委員会を9月11日につくば国際会議場で開催した。

第66回日本実験動物学会総会に合わせ、2019年5月12、13日にウェットハンド研修会「I. げっ歯類及びウサギの獣医学的管理」を福岡大学（福岡市）で共催した。受講者は25名。

6. 実験動物学教育委員会

委員長：古市達哉(岩手大)

委員：横須賀 誠(副委員長、日獣大)、安居院高志(北大)、浅野 淳(鹿児島大)、伊豆弥生(岡山理科大)、越後谷裕介(日大)、大杉剛生(酪農大)、岡田利也(大阪府大)、角田茂(東大)、木村 透(山口大)、久和 茂(東大)、佐々木宣哉(北里大)、佐々木隼人(北里大)、佐藤雪太(日大)、竹内崇師(鳥取大)、田中あかね(東京農工大)、塚本篤士(麻布大)、富岡幸子(鳥取大学)、二上英樹(岐阜大)、橋本 統(北里大)、森松正美(北大)

- (1) 第161回日本獣医学会学術集会開催期間中、2018年9月11日に委員会を開催した。
- (2) 獣医学教育モデル・コア・カリキュラム有識者会議から、実験動物学のコア・カリキュラムの改訂作業について依頼があり、教育委員会として対応した。各委員の協力の下、実験動物学講義および実習のコア・カリキュラムの改訂案を作成し、有識者会議へ提出した。

7. 実験動物法規等検討委員会

委員長：下田耕治(慶應大)

委員：大沢一貴(副委員長、長崎大)、笠井憲雪(東北大)、二上英樹(岐阜大)、武井信貴子(イナリサーチ)、横山政幸(武田薬品工業)

- (1) 第161回日本獣医学会学術集会において第1回委員会を開催した。
- (2) 「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正について、意見交換した。

8. 前島賞・功労賞選考委員会

委員長：池 郁生(理研)

委員：三好一郎(副委員長、東北大)、岡本宗裕(京大(2019年7月まで))、小野悦郎(九大)、加藤啓子(京都産業大)、杉山文博(筑波大)、鈴木樹理(京大(2019年7月から))、中村紳一朗(滋賀医大)、山中仁木(長崎大)

第161回日本獣医学会学術集会における2018-2019年度前島賞候補者の選考が2018年9月12日に行われ、下記の松田研史郎 会員が候補者として安居院会長に報告された。翌日の総会で同会員が表彰された。

候補者：松田研史郎 会員(東京農工大学)

研究課題：未熟児網膜症病態発現機構の分子解析：マスト細胞の必要性

[2] 2018-2019年度決算報告 (8/1~7/31) (別紙参照)
一般会計決算報告について
会費納入状況について

[3] 2019-2020年度事業計画 (8/1~7/31)

1. 総会

2019-2020年度総会を第162回日本獣医学会会期中に行う。

2. 学術集会委員会

(1) 第162回日本獣医学会学術集会開催期間中、委員長が日本獣医学会プログラム委員会に出席する(2019年9月12日)。

(2) 下記の教育講演・シンポジウムを企画・開催する。

第162回日本獣医学会学術集会においてJALAMシンポジウム「先端生体イメージング技術が切り拓く動物実験の新たな可能性」を開催する(2019年9月12日)。

A) 第67回日本実験動物学会におけるJALAMシンポジウムを企画する。

B) 第163回日本獣医学会におけるJALAMシンポジウムを企画する。

3. 情報・編集委員会

(1) JALAM NEWS LETTER「実験動物医学」No.53(2019.8)およびNo.54(2020.4)を編集し、本学会ホームページ(HP)に掲載する予定。

(2) 本学会HPを改訂し、その内容を随時更新する。

(3) 会員HP(<http://jalam.jp/htdocs/>)を管理運営する。

(4) 第162回日本獣医学会学術集会開催期間中、2019年9月10日に委員会開催予定。

4. 研修委員会

本年9月8, 9日に「I. げっ歯類およびウサギの獣医学的管理」を実験動物中央研究所（川崎市）で共催する。162回日本獣医学会学術集会開催時（9月10日）に委員会を開催する。また、2020年5月の第67回実験動物学会に合わせウェットハンド研修会「II. イヌ・ブタの獣医学的管理」を共催予定である。

5. 実験動物学教育委員会

- (1) 委員会を1回（2019年9月10日）開催する。
- (2) 実験動物学教育委員会のメーリングリストを通して、意見・情報の交換を行う。

6. 実験動物法規等検討委員会

- (1) 第162回日本獣医学会学術集会開催期間中、2019年9月11日に委員会開催予定。
- (2) 動物愛護管理法の改正に関する情報を収集する。
- (3) 動物愛護管理法関連法規等について、理事会から諮問された案件について検討し、その結果を理事会へ報告する。

7. 前島賞・功労賞選考委員会

第162回日本獣医学会学術集会開催期間中、2019年9月11日に委員会開催予定。

[4] 2019-2020年度（8/1～7/31）予算（別紙参照）

1. 一般予算について

[5] その他

【 報告事項 】

1. 2018-2019年度会員数

日本実験動物医学会 会員数 合計 395名（2019年7月31日現在）

2. 2018-2019年度入退者数

入会 29名

退会 23名（会費滞納による退会7名）